



武蔵野北高校は、とても粘り強いチームで、リバウンドが強かったです。オフェンスでは、速攻をよく狙っていて、ゾンプレスを使ったディフェンスをしていました。また、コートの中も外も声がよく出ていたと思います。

本校は、アップの雰囲気から大切にし、一体感のある状態で試合に入ることが出来ました。そのため、試合の初めからハードワークをして、強い気持ちを持って挑むことが出来ました。

オフェンスでは早い展開を意識して、速攻などトランジションを使って攻めることが多かったです。ディフェンスではハードワークを頑張りました。

ですが、ファウルの数がとても多く目立ちました。強い気持ちを持ってハードワークなディフェンスをしていたので、上手くコースに入れなかったり、手が出てしまったりして、ファウルが積み重なってしまいました。また、結果的にリバウンドは取れたものの、スクリーンアウトが甘くなっている部分が多々ありました。しっかりとスクリーンアウトをしてから取る事を徹底することが出来れば、リバウンドでももっと戦えるようになると思います。

ベンチからも観客席からも沢山の応援の声が聞こえてきて、選手たちの活力にもなったと思います。応援も試合を左右する大きな要因の1つになるのでこれからも応援に力を入れていきたいです。